

有田市長

望月 良男 様

地域医療(産婦人科)の充実を求める要望書

現在、有田市におきましては、有田市二人の未来応援パッケージ“Marry You”という新しい支援制度が創設され、結婚・出産・子育てと若者に対する支援を積極的に展開していただき、自治会として、市民のひとりとして感謝しています。

しかしながら、市内在住の若い世代の出産や、県外在住の子ども達がふるさと有田市への移住の検討、また実家に帰省しての出産を考えるにあたり、出産できる病院・医院の少なさが話題に挙げられています。

有田郡唯一の産科医院が、本年12月末で分娩の取り扱いを休止すると聞いており、有田市立病院におきましても、産科医の先生が令和2年3月末に多くの皆様に借しまれつつも退職されたため分娩が休止となっている現状を踏まえると、出産に対する不安に大きいものがあります。

幸い、本年5月に有田市宮原町東に新たに助産院が開院され、地域の出産の力添えとしての期待は高まっておりますが、併せて有田市立病院の産婦人科医療体制の一層の充実がなされれば、両施設が協力体制を維持でき、若者世代にとっては心強いものとなります。

つきましては、有田市立病院の分娩できる産婦人科が早急に再開されるよう有田郡市の市、各町が連携して実現のため力を注いでいただけますよう強く要望いたします。